

道州制に関する今後の検討について

(平成19年7月12日・全国知事会議)

1 全国知事会における道州制議論の状況

(1) 道州制特別委員会

○ 検討テーマ

- ・ 国のあり方及び国・道州・市町村の役割分担
- ・ 大都市圏との関係
- ・ 市町村との関係
- ・ 住民自治のあり方

○ 議論の進め方に関する了解事項

(平成19年5月7日 第11回道州制特別委員会)

- ・ 道州制の下での国と地方の役割分担について、第2期改革において我々の目指す役割分担のあり方がある程度固まった段階で、それをベースとして、議論を更に一步進め、具体的な役割分担の形を検討。
- ・ 道州制特別委員会に幹事会を設置する。

(2) 道州の組織・自治権に関するプロジェクトチーム

○ 検討テーマ

- ・ 首長・議会議員の選出方法
- ・ 道州の組織・機構のあり方
- ・ 条例制定権（自治立法権）の拡充・強化

○ 議論の進め方に関する了解事項

(平成19年4月13日 第1回プロジェクトチーム会議)

(平成19年6月27日 第2回プロジェクトチーム会議)

- ・ 幹事会とPT本会議を、ほぼ1ヶ月に1回ずつ交互に開催。
- ・ テーマごとに、幹事会で基礎資料の検討、論点の整理を行い、PT本会議で検討課題についての意見交換を行う。
- ・ さらに、幹事会で、PT本会議の議論を踏まえた事項の詳細検討をし、PT本会議で検討課題についての意見集約を行う。
- ・ 平成19年中に、議論をまとめる方向。

(3) 道州制における税財政制度に関するプロジェクトチーム

○ 検討テーマ

- ・ 税財政制度のあり方

○ 議論の進め方

- (平成19年3月7日 第1回プロジェクトチーム幹事会)
- (平成19年6月4日 第1回プロジェクトチーム会議)
- ・ 6月4日の会議で示した道州制のモデルについて、事務局より意見照会を行い、道州制のモデルを「仮置き」する。このモデルを基に、偏在性の少ない税体系、財政調整についてシミュレーションを行う。
- ・ このシミュレーションをもとに、税の偏在性、国と地方の税体系、財政調整の方法、国の関与などについて議論を深める。
- ・ 検討に当たっては、特別委員会本体等の議論との整合性を図る。

2 国の動向

- 6月19日の「経済財政改革の基本方針2007」では、「地方分権改革の総仕上げである道州制実現のための検討を加速する」とされたところ。
- 自由民主党道州制調査会においては、5つの小委員会において、各論にかかる議論を行った結果、6月14日に「道州制に関する第2次中間報告」としてとりまとめられ、同月20日に安倍総理大臣に提出されたところ。今後、中間報告で残された検討課題とされた事項等について、さらに議論を行っていく予定。
- 道州制ビジョン懇談会においては、本年度中に、中間とりまとめがなされる予定。

3 全国知事会における今後の検討の進め方

- 上記の状況を踏まえ、道州制特別委員会においては、今後、検討課題の各論部分の議論に踏み込んでいくことに鑑み、幹事会を設置することとしたが、今後、幹事会で論点を整理し、ある程度意見集約をした上で、道州制特別委員会に諮る形で、議論を進めることとしたい。
- 道州制特別委員会としては、国の動向を見極めつつ、それぞれのPT本会議において議論を取りまとめ、それらの議論と併せ、おおむね本年末には中間とりまとめを行いたい。その上で、委員会案として全国知事会議に諮ることとしたい。
- 自由民主党の道州制調査会の動向等に対しては、適宜、道州制特別委員会を開催し、機動的に対応することとしたい。